



大阪国道メンテナンス・フィールド・セッション (MFS) vol.2

— 清滝トンネルにおける舗装補修材の試験施工 —

日時：2025年11月26日（水）14:00～16:00
場所：大阪国道事務所 災害対策室（WEB併用）
技術紹介：鹿島道路（株）関西支店
高耐久型常温補修材、全天候型緊急補修材、
貼付け型ひび割れ補修材
参加者：北大阪出張所職員 ○名

大阪国道事務所では、道路メンテナンスの高度化・効率化を目的として「大阪国道メンテナンス・フィールド・セッション (MFS)」を開催しています。

令和7年11月26日、国道163号 清滝トンネル内において、最新の舗装補修材を用いた試験施工 (MFS vol.2) を実施しました。

本セッションでは、実交通条件下での施工性や初期性能を確認し、今後の維持管理への適用可能性について現地で検証を行いました。



施工にあたっては、既設舗装の状況に応じて補修材を使い分け、施工手順、施工時間、施工性、交通への影響などを確認しました。

あわせて、施工後の状態を継続的に確認するため、1か月、2か月、3か月、6か月、1年後を目安とした追跡調査を行う予定としています。

本セッションを通じて得られた知見は、今後の舗装補修工法の検討や、道路巡視・維持工事の効率化に活用していきます。

大阪国道事務所では、引き続きメンテナンス・フィールド・セッションを通じて、現場発の技術検証と知見の共有を進めていきます。



本セッションは、直轄国道における道路維持管理の高度化を目的に、職員が新技术・新材料を現場で「見て・触れて・確認する」実践的な取組として実施したものです。試験施工は、国道163号 清滝トンネル内の舗装損傷箇所において行い、鹿島道路（株）の協力のもと、以下の補修材を用いて施工を実施しました。

- 高耐久型常温補修材、●全天候型緊急補修材、●貼付け型ひび割れ補修材

